

# 開目抄鑽仰(一) 科段正誤表

室 住 一 妙

棲神第35号、誤植もあり、その後の考究から多少訂正の要もあり、今余白を仮りて、お詫びを申し上げます。

△頁・行

×誤

○正

定本遺文頁行

51 8

明 混

総 仏混

15

○身行分」標——此に日蓮案云

556  
—3

述——内観因果——現果報——世すでに………

52

53

54

56

識

—2

—13

—14

—5

—12

識

—12

—13

—6

	69	68	67	64	62	61	59	58		
7 } 11 の上の、引・釈成に並んで、第二・二の線下に加う。	1	13	8	15	15	12	9	5	10	11
○決△	1 } 6 の上の対△・判に並んで、第二類ノ一の線下に加う。				○結示―此経文	簡非に並び、事例の線下に次の行を加う。			○釈 (私注)	
第二の悪	四	示	―7	十一文	但	―14	田		別―又妙法	総―此真言
三句	迫	―6	十文		此		由			
595						577				
―1					―9	―2			―7	570
										―6

# 開目抄鑽仰(二) 写本対校

76	75	73	72	71	70
11 } 12	9	12	5	11	12 } 13
○法説		業力			○悲歎
挙三仏意		.....			述往今歎
歎彼誇状	-5	△ -9	譬例	四釈	総 歎 かるがゆへ
.....					
.....	-4	-12	証(譬例)	四文	
.....	608				
.....	-1				
					598
					-8
					-7
					-11
					-10
					595
					-8

此度、兜木正亨師が岩波書店から日本古典文学大系に開目抄等編入、校訂を囑托され、同古写本対校の必要から鎌倉本覚寺様に、お願いした処、先日、一乗坊日出上人(行学朝師の師範)の写本(上巻のみ)の拝借を許され、私も